

# ●歩行用トラクターの後進時は、 障害物に注意

なぜ？

トラクターで、後進時の挟まれが事故原因の上位を占めています。慎重に操作しましょう。

## ヒヤリ、事故

1. 畑を耕うん中、バックの際にリンゴの木と機械の間に挟まり、ろっ骨が1本折れた。
2. バック時に後ろの電柱と機械の間に挟まれそうになった。



そこで…

## 対策ポイント

1. 衝突や挟まれの恐れがあるので、後方の立木、支柱、誘引ワイヤー等の障害物の周りでは余裕ある距離を保つようにします。
2. 旋回は、周囲や足元を確認しながら行います。
3. 畦畔ぎわも余裕ある回行スペースをとるようにします。

さらに！

## 追加のヒント

1. 容易に手の届く位置に緊急停止装置がある機械や、ハンドルから手を離すとクラッチが切れるデッドマン式クラッチ、挟まれを感知すると機械が停止する挟圧防止装置の付いた機械を使用しましょう。
2. 緊急時に1. の安全装置を使えるよう、日ごろから確認、練習をしておきましょう。